

## 総括

### ■ 種別

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」を適用して審査を実施した。

### ■ 認定の種別

書面審査および1月29日に実施した訪問審査の結果、以下のとおりとなりました。

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」認定

### ■ 改善要望事項

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」  
該当する項目はありません。

#### 1. 病院の特色

貴院は開設以降、病床機能の変更を経て、現在は総合リハビリテーションセンター・みどり病院として「この地に根差し 地域住民・患者・家族・職員 すべての人が安心できる病院を目指します」と理念に掲げ、医療を提供されている。受託事業として、認知症疾患医療センター、在宅医療介護連携ステーション、地域包括支援センターなどを含むリハビリテーション機能を発揮されており、地域の回復期リハビリテーション医療の中核病院として名実ともに機能している。臨床においても質の高い医療を展開されており、病院機能評価の本体機能（リハビリテーション）の認定を受け、さらに質の高いリハビリテーション医療を提供するべく、今回、病院機能評価の高度専門（回復期リハビリテーション）を受審された。

医療の質向上に向けて主体的に取り組んでいる姿勢が随所で具体的に確認された。また、さらなる取り組みが必要な課題については全職員が一丸となって検討され、今後の貴院の一層の発展へと繋がられることを期待したい。

#### 2. 良質な回復期リハビリテーションを提供するための組織運営

病院の理念や基本方針は明確である。充実したリハビリテーション・ケアを提供できる職員を配置し、リハビリテーション科専門医が常勤で在籍して回復期リハビリテーション病棟で多くの業務をサポートしている。医療安全管理対策委員会が設置され、年間で多数のインシデント・アクシデントが報告されているが、委員の選出や参加状況について検討を期待したい。急変時の対応手順マニュアルが周知され、BLSの初動体制も整備されている。十分な広さと設備を備えた訓練室があるほか、作業療法や歩行訓練ができる屋外スペースも整備されている。

退院サマリーは各職種とも遅滞なく作成し、退院時にはかかりつけ医等へ情報提供しているが、収集データの分析や公表については今後の業務改善への活用を期待したい。院長会議や回復期リハビリテーション病棟運営会議で課題把握と対策検討がなされているが、積極的に職員の意見を収集する仕組みについて検討を期待したい。教育・研修は担当する委員会等が主体となって実施されているが、回復期セラピストマネージャーなどの資格取得を組織的に支援する体制の整備やチーム力向上に向けた研修の開催を期待したい。急性期病院からの患者受け入れや急変時の連携、自宅復帰後の介護サービス事業者との連携を含むリハビリテーション・ケアの継続に対する支援は円滑に行われている。

### 3. 回復期リハビリテーションに関わる職員の専門性

回復期リハビリテーション病棟に配属される医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、管理栄養士は専門的な役割・機能を発揮し、患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている。チーム医療の実践にも適切に関与している。

医師は医学的評価に基づくリハビリテーション処方やリスクに関する指示を行っているが、リハビリテーション指示の段階的な更新について期待したい。また、病棟の受け持ち患者数について見直しを期待したい。看護師は、看護計画の立案や生活に密着したケアを適切に実践している。介護福祉士も病棟生活レベルに沿った介入や評価を適切に実施している。各療法士は標準的評価に基づく介入計画の立案と変更を定期的実施し、診療録記載で他職種と共有しており、専門性を適切に発揮している。社会福祉士は入院から退院まで一貫して患者・家族に関わり、支援計画の立案や抽出した課題に基づいて適切に支援を実施している。管理栄養士は全患者の栄養評価を行い、栄養状態や摂食嚥下機能に応じた栄養管理を適切に実施している。

### 4. チーム医療による回復期リハビリテーション・ケアの実践

各職種はICFに基づいた評価を行い、入院診療計画書やリハビリテーション実施計画書を作成しているが、入院時カンファレンスは医師を含む多職種の参加を期待したい。初回カンファレンスを開催し、多職種によるリハビリテーション総合実施計画書を作成しているが、患者・家族の要望をさらに反映されることを期待したい。医師の指示のもと個別リハビリテーションは必要な量を提供しているが、更衣動作についてチーム全体での取り組みを期待したい。リハビリテーションの進捗状況は、朝の申し送りで夜間の患者情報の共有やリスクの確認、患者スケジュールの変更等を確認して担当療法士に伝達している。

カンファレンスでは、各職種が専門性に応じた介入結果や今後の方針について発言し、職種間の双方向性の議論を経て、課題解決に向けた介入が適切に行われている。定期カンファレンスで見直されたリハビリテーション・ケアについては、電子カルテを中心にスタッフ間で共有され、統一された方針・方法で実践されている。自宅復帰に向けて家屋環境、交通機関利用や復職へのニーズなど、患者の実生活に

おける課題を明確にして多職種が介入している。自宅退院患者には、担当看護師が中心となり、指導チェック表を用いて介護指導を実施している。

# 1 良質な回復期リハビリテーションを提供するための組織運営 評価判定結果

1.1	良質なリハビリテーションを提供するための体制	
1.1.1	回復期リハビリテーション病棟の運営に関する方針が明確である	II
1.1.2	良質な回復期リハビリテーション機能を発揮するために必要な人員を配置している	II
1.1.3	リハビリテーションを提供するための組織体制が確立している	II
1.2	安全で質の高いリハビリテーションを実践するための取り組み	
1.2.1	患者の安全確保に向けた体制を整備している	III
1.2.2	患者の急変時に適切に対応できる仕組みを整備している	II
1.2.3	安全で安心できる療養環境の整備に努めている	II
1.3	質改善に向けた取り組み	
1.3.1	回復期リハビリテーションの質改善に必要なデータを収集し活用している	III
1.3.2	回復期リハビリテーションに関する自院の課題の把握と対応策を検討している	III
1.3.3	回復期リハビリテーションに関する教育・研修を行っている	III
1.4	地域の医療機関等との連携とリハビリテーションの継続に向けた取り組み	
1.4.1	急性期病院と円滑に連携している	II
1.4.2	自宅復帰後のリハビリテーション・ケアの継続に向けて地域サービス提供機関等と円滑に連携している	II
1.4.3	自宅復帰が困難な患者のリハビリテーション・ケアの継続に向けて施設等と円滑に連携している	II

## 2 回復期リハビリテーションに関わる職員の専門性

### 評価判定結果

2.1	回復期リハビリテーション病棟における医師の専門性の発揮	
2.1.1	医師は専門的な役割・機能を発揮している	Ⅲ
2.1.2	医師は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅲ
2.1.3	医師はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ
2.1.4	医師は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
2.2	回復期リハビリテーション病棟における看護・介護職の専門性の発揮	
2.2.1	看護・介護職は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.2.2	看護・介護職は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.2.3	看護・介護職はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ
2.2.4	看護・介護職は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
2.3	回復期リハビリテーション病棟における療法士の専門性の発揮	
2.3.1.P	理学療法士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.3.1.0	作業療法士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.3.1.S	言語聴覚士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.3.2	療法士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.3.3	療法士はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ
2.3.4	療法士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
2.4	回復期リハビリテーション病棟における社会福祉士の専門性の発揮	
2.4.1	社会福祉士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.4.2	社会福祉士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.4.3	社会福祉士はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ

2.4.4	社会福祉士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	II
2.5	回復期リハビリテーション病棟における管理栄養士の専門性の発揮	
2.5.1	管理栄養士は役割・専門性を発揮している	II
2.5.2	管理栄養士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	II
2.5.3	管理栄養士はチーム医療の実践に適切に関与している	II
2.5.4	管理栄養士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	II

### 3 チーム医療による回復期リハビリテーション・ケアの実践

## 評価判定結果

3.1	初期評価とリハビリテーション計画の立案	
3.1.1	初期評価を適切に行っている	Ⅲ
3.1.2	リハビリテーション計画を適切に立案している	Ⅲ
3.2	専門職による回復期リハビリテーション・ケアの実施	
3.2.1	各職種により患者に必要なリハビリテーション・ケアを実施している	Ⅲ
3.2.2	リハビリテーションの進捗状況を共有している	Ⅱ
3.3	多職種による課題の共有と対応	
3.3.1	定期的な情報共有による新たな課題の評価・検討を行っている	Ⅱ
3.3.2	新たな課題の解決に向けたリハビリテーション・ケアを実施している	Ⅱ
3.4	自宅復帰に向けた多職種による協働	
3.4.1	自宅復帰とその維持に必要な患者固有の課題の評価・検討を行っている	Ⅱ
3.4.2	自宅復帰とその維持に向けた課題の解決のための具体的な取り組みを行っている	Ⅱ